

## 国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 研究課題名                          | 大会開催地とコロナ禍がオリンピック・パラリンピック出場選手に与えた心理的影響について  |
| 倫理審査委員会承認番号                    | 2022-056  |
| 研究開始日                          | 2023年3月2日   |
| 研究終了日                          | 2024年3月31日  |
| 研究目的                           | 東京・北京オリンピック・パラリンピックに参加したアスリートは、コロナ禍と開催地によってパフォーマンスに何らかの影響を受けたことが予測された。このことから、開催地（自国または他国）やコロナ禍が与える心理的な影響があることが予想され、本調査はこの影響について詳しく分析することを目的としている。   |
| 研究対象者                          | 東京・北京オリンピックおよびパラリンピック出場者  |
| 研究概要                           | 対象者は、「東京オリンピック・パラリンピックのメンタル面に関するアンケート」に回答した74名と、「北京オリンピック・パラリンピックのメンタル面に関するアンケート」に回答した40名である。収集したデータは回答者が特定できないように氏名が匿名加工を施している。回答内容は基本情報、自国開催がパフォーマンスに与えた影響について（東京大会）、大会期間中のコロナ対策による行動制限（北京大会参加者）がパフォーマンスに与えた影響について（1～7点のうち該当する数字を選択）、コロナ禍がパフォーマンスに与えた影響について（1～7点のうち該当する数字を選択）、試合時の観客の様子について、JISSの心理サポートの利用について、に関する内容であった。データ分析は、統計処理によって自国開催、コロナ禍が与えた影響の傾向を明らかにしておく。 |
| 研究に用いる情報の種類                    | 過去の大会の参加経験、年齢、性別、競技種目   |
| 研究の資金源<br>研究に係る利益相反及び<br>個人の収益 | 本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。   |
| 研究責任者                          | 立谷泰久/スポーツメディカルセンター  |
| 研究分担者                          | 早川琢也/スポーツメディカルセンター、實宝希祥/スポーツメディカルセンター、近藤みどり/スポーツメディカルセンター、高橋由衣/スポーツメディカルセンター、柄木田健太/スポーツメディカルセンター  |
| 問合せ先                           | 立谷泰久・スポーツメディカルセンター・03-5963-0237<br>yasuhisa.tachiya@jpnssport.go.jp   |